

われら仲間 努力の間

目指せ エジソン!



今回は、発明クラブ専任指導員の猪野言俊さんに同クラブを紹介してもらいます。

発明クラブは「青少年の創造性の育成」をモットーに、発明協会設立七十周年を記念して、昭和四十九年度から全国で設立されました。

南国市少年少女発明クラブは昭和五十九年に発足し、今年でちょうど十年目の、県下つただ一つの発明クラブです。

今年九月には、発明協会、県知事、市長を迎えて、十周年の記念式典を開催する予定です。

このクラブは市内の小中学校四年と六年生を対象に、毎月第二土曜日の午前中、大塚小で開講。発明協会の役員、小中学校の先生方の指導のもとに活動しています。



今年度の参加は三十四人で、遠く赤松小からも参加。物を創ることを通して、道具の正しい使い方、材料の性質を学習し、工夫する中で創造の手



を伸ばし、創るよろこびが体得されていくことでしょう。

今年度も二人が県の発明コンクールで入賞。また、最高の県教育長賞を毎年受賞している、クラブ卒業の中学生もいます。

六年度の募集要項は三月中旬、学校を通じて配布されます。

このコーナーでは、同じ趣味を持った方たちの楽しい活動風景を紹介しています。

「私たちのサークルを取材してほしい」と思われる皆さん、ぜひご応募ください。

■応募方法 サークルの代表者の氏名、住所、電話番号、活動場所、それに活動内容を簡単に明記

■あて先 〒783 南国市大塚甲二二〇一 南国市企画課 広報統計係

これはなんでしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

■しめきり 3月10日

■あて先 〒783 南国市大塚甲二二〇一 南国市企画課 親子クイズ係

■賞品 正解者の口から抽選で5人の方に図書券を進呈

◎第2回親子クイズの答えは、菜の花でした。



思い出がっぱん

◆子供のころ菜種をしぼって母がお羊の天ぷらを作ってくれたことをなつかしく思い出します。

◆三年生のとき、理科の実験で菜の花の絵を描くスケッチをして、先生にほめられました。学級通信にのせてもらったけど、色がうつらなかつたかやしさを覚えていました。

◆小学生のときに、自分たちで種をまいて菜の花を育てた楽しい思い出があります。観察日記をみんなで作いたうして大事にしていたなあ。

◆菜の花畑にいくと、菜の花特有の香りが心地よく感じられ、春が来たのだなあとうれしく思ふこのころです。

◆私の家でも、寒い冬に耐えきれいな花が咲きはじまりました。本当に気持ちいな思い出です。

◆学生時代、生物の先生が「菜の花は葉が立ってから咲くんだよ」と話されていた。社会人になって、その言葉の意味がわかり、服まされています。

◆「春の花」というと一番先に思い浮かぶほど好きな花です。生け花にとときどき使いますが、毎日菜がのびるので手をやきまです。やはり野原が一番似合う花かな。

市民 サロン

このページは市民の皆さんが作るページです。短歌、俳句、川柳などの文芸作品やどんなことでも結構ですので皆さんのご意見をお気軽にお寄せください。

締め切りは毎月10日です。

あて先は南国市企画課市民サロン係（〒783 南国市大塚甲2301）です。

そんなのないよ…
沢本英世（里改田）



北風が強くて寒い夜は、
今年も鳥たちの春までを思おう

竹藪にむらがり鳴きながら宿りを求める。
凍るような寒い夜は、体をよせ合って
じっと寒さに堪え、夜を過ごすのだろうか。
凍る夜のつづく朝は、寝のくぼみに
小さな命の終わりを、時折見る

今回は大塚にお住まいの、池本豊
子さんからの投稿を紹介します。



あまりの寒さに力つき、
苦しかったのだろうか。

私は小さな体を手のひらに、垣根の南の
あたたかい場所をえらび、土を掘り
お米と花を胸にだかせ
その土をにかけてみる
凍るような寒さの少ないことを

南国歌壇

三月よ花ざらびなら木更の
角くむ枝に粉雪は舞ふ
木枯に咲き難く耐ゆるるサザンカは
春の足音島待に長らふ
鳥外の親老客に上佐の住ま
伝えんとして日々駒みおり
上田を休耕なしたる馬かきを
みどけるごとしえ輸入記事
もう幾年つづくやあらむこの店の
舗道に出てて冬の月見る
氏協に梅林のこし夫は道く
淡き香りが谷間にたごよう

立田 島田美津子
久枝 徳久昌男
大塚 島 光則
西山 岩貞健一郎
立田 北村幸江
白木 谷 野村みゆき

南国俳壇

福は内声一ばいに鬼は外
寒風来き紅葉を標にし
梅花咲きこぬうぐいすよいまいづこ
初雪孫笑顔にパーサン寿命延び
金枝の紅梅咲きて春近し

下野田 国沢 親
緑ヶ丘 細美寿亀
十市 大家寿吉子
里改田 田所千枝
田村 中沢 節

南国俳壇

寒煙の遠きひとつはウインザ城
神門屋の牛が呼びだす冬の虹
七草のごきょうを欠いて一人の舞
旅人に雪の城跡跡きたり
元日のバスびょうびょうと待ってみる里改田
根いま冬台雪と同化する
一輪の夜の寒さや寒春
冬こもり香木ささむ音のして
冬も咲く葉が基場の浜おもと
傾きて日の遠く藪や竹を伐る

日吉町 掛橋初子
下野田 藤原悦子
西野田 山岸雅恵
里改田 福井英子
里改田 福井博子
里改田 岡田秀子
浜改田 溝淵 保
田村 久保仁子
浜改田 森田きみ
片山 松木巨郎